

室があります。

通信指令室にはコンピュータシステムがあり、119番の電話がかかってくると、自動的に動き出し、火事や事故が起きている消防署や分署に出動指令を出すようになっています。



通信指令室



消防署の人たちは、2つの班に分かれて1日中、休むことなく、火事が起きた時にすぐ出動できるようにじゅんびしています。

夜は、通信を受ける人の他は、仮眠室でねむりますが、いつでも出動できるように、ズボンをはいたままでねむります。

③ 予防活動と訓練

消防署の仕事は、火を消すことだけではありません。火事などのない安全に生活できる町にするために、学校や病院などのしせつやガソリンスタンドの安全をたしかめるなどの仕事もしています。また、いつ火事が起きても使えるように、消火栓の調査や訓練もしています。



安全点検のようす